

## 農業後継者育成基金事業

### 令和4年度農大就農促進対策助成事業

事業主体名 鹿児島県立農業大学校

#### 1 目的

本校の入学者は、経営基盤の整っていない兼業農家、非農家の割合が増加しており、卒業後に就農するためには、農地の確保、機械・施設の取得などに多額の資金や期間を要することから、本校で学習した専門的な知識技術を自らの営農として生かすことができない学生も少なくない。

今後、就農・就職相談会等への参加を通じ、早い時期から農業法人の理解促進を図り、非農家出身の学生を主とした雇用就農への意欲喚起及び就農促進を図る。

そこで、企業的な農業経営を行っている農家や農業法人の取り組みについて、現地視察を通じて、理解促進を図り、就農対策の一助とした。

#### 2 実施状況

##### (1) かがしま就農・就業相談会での相談活動

新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで、1年生の次世代人材投資資金申請者等12名がかがしま就農・就業相談会に参加した。

法人との直接面談により具体的に内容が把握でき、進路選択に当たっての貴重な情報収集の場となった。

##### (2) 先進農家等による講話

新型コロナウイルス感染症の関係で開催域がのちよ姓が出来なかった。

##### (3) 先進農家等の視察

大型経営農家（畜産）を訪問し、販売戦略（自社ブランド、かがしまブランド両面での販売や海外輸出の課題）について、飼料の高騰の影響等の話、また、農業公社と農業法人との連携、観光農園の取組、6次産業化の取組等について研修した。

##### (4) 地域との交流

本年度は、規模を縮小しながらも、元年以来の一般客を入れたの農大祭の開催となった。

12月3日（土）は、学生が生産した農畜産物やそれらを誓った加工品の販売や、センター内でぐるり一周バスツアーなどを行った。朝早くからたくさんのお客で行列ができるなど、午前中だけの開催であったが約2000人の方々にお越しいただき、盛大に開催することができた。



#### 3 今後の課題、取り組み

今後も引き続き、本県の農業を担う人材の育成・確保を図るために、本事業を活用し、就農促進のための取り組みの充実・強化を図ってまいります。